

市議会だより

四万十市

議会だより



2017. 8. 1 発行

～もくじ～

- 議案 … 1ページ
- 一般質問 … 3ページ
- トピックス… 16ページ

[写真 西土佐藪ヶ市]

発行 四万十市議会（編集：広報広聴委員会）

〒787-8501 高知県四万十市中村大橋通4丁目10番地 TEL 0880-34-5071 FAX 0880-34-1827

平成29年6月定例会

四万十市議会6月定例会は、6月12日に開会し、6月29日までの18日間の会期で開催されました。

今期の定例会には「専決処分の承認を求める議案」1件、「平成29年度補正予算」5件、「条例の改正」2件、その他「四万十市道路線の廃止について」など13件、「質問」2件、「議員提出議案」3件が提出され、慎重に審議を行いました。また「四万十市営安並運動公園テニス場の改修工事の要望」について陳情書も提出され全会一致で「採択」しました。

一般質問では12名が「市長の政治姿勢」、「防災対策」、「教育行政」、「観光産業振興」などについて質問を行いました。一般質問の詳細は3ページから掲載しています。

議案番号	件 名	結果	議案番号	件 名	結果
1	専決処分の承認を求ることについて (平成29年度四万十市国民健康保険会計診療施設勘定補正予算(第1号))	全会一致承認	11	固定資産評価審査委員会委員の選任について(岡林武範氏)	全会一致同意
			12	固定資産評価審査委員会委員の選任について(岡村利七氏)	全会一致同意
2	平成29年度四万十市一般会計補正予算(第2号)について 平成29年度四万十市一般会計補正予算(第2号)についてに対する修正案	賛成多数可決 賛成少数否決	13	固定資産評価審査委員会委員の選任について(仙石邦彦氏)	全会一致同意
			14	固定資産評価審査委員会委員の選任について(中脇裕美氏)	全会一致同意
3	平成29年度四万十市国民健康保険会計診療施設勘定補正予算(第2号)について	全会一致可決	15	固定資産評価審査委員会委員の選任について(中平晋祐氏)	全会一致同意
			16	固定資産評価審査委員会委員の選任について(仙石由紀子氏)	全会一致同意
4	平成29年度四万十市奥屋内へき地出張診療所会計補正予算(第1号)について	全会一致可決	17	平成29年度四万十市一般会計補正予算(第3号)について	全会一致可決
5	平成29年度四万十市鉄道経営助成基金会計補正予算(第1号)について	全会一致可決	18	工事請負契約について	全会一致可決
			19	教育委員会委員の任命について(上岡章人氏)	賛成多数同意
6	平成29年度四万十市簡易水道事業会計補正予算(第1号)について	全会一致可決	20	教育委員会委員の任命について(上村賀予氏)	全会一致同意
			21	監査委員の選任について(林大三郎氏)	全会一致同意
7	四万十市税条例の一部を改正する条例 四万十市立学童保育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	全会一致可決	質問1	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求ることについて(助村通俊氏)	全会一致同意
9	四万十市道路線の廃止について	全会一致可決	質問2	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求ることについて(芝 雅人氏)	全会一致同意
10	四万十市道路線の認定について	全会一致認定			

■平成29年6月定例会議員提出議案

議案番号	件 名	結果
1	四万十市議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例	賛成少数否決
2	四万十市議会委員会条例の一部を改正する条例	全会一致可決
3	四万十市議会会議規則の一部を改正する規則	全会一致可決

■平成29年6月定例会で受理した陳情

委員会名	議案番号	件 名	結果
教民	1	四万十市営安並運動公園テニス場の改修工事の要望	全会一致採択

議案の賛否の状況																	賛成○	反対×		
	矢野川信一	藤田豊作	宮本幸輝	宮本博行	白木一嘉	上岡礼三	勝瀬泰彦	宮崎努	川村一朗	安岡明	平野正	今城照喜	上岡正	山崎司	谷田道子	垣内孝文	西尾祐佐	大西友亮	酒井石	松浦伸
第2号議案の修正案	議長	○	×	欠席	×	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×	×	
第2号議案(原案)	議長	×	○	欠席	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議員提出第1号議案	議長	○	×	欠席	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	×	○	○	

第19号議案 賛成14名、反対4名(無記名投票)

■四万十市選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙について

四万十市選挙管理委員会委員については、大林郁男氏、亀谷暢子氏、夕部和宏氏、松本治彦氏が、同補充員については、中脇影則氏、岡添眞子氏、杉本義和氏、小野雅也氏が投票により当選されました。

ここを ただ 質す!

一般質問

質問順位	質問者	質問要旨	質問掲載ページ
1	垣内孝文 (一問一答)	1 市長の政治姿勢 2 防災・減災対策の取組み 3 と畜場運営	3
2	谷田道子 (一問一答)	1 安心コール事業 2 国保の都道府県化 3 子ども子育て支援	4
3	山崎 司 (一問一答)	1 新・第2副市長の行政方針 2 道路財特法 3 國土調査 4 ほ場整備 5 洪水対策	5
4	上岡 正 (一問一答)	1 根わさびの実証実験	6
5	川村一朗 (一問一答)	1 市長の政治姿勢	7
6	大西友亮 (一問一答)	1 若者に対しての支援対策 2 防災 3 ふるさと納税	8
7	酒井 石 (一問一答)	1 市長施政方針 2 住みやすい地域を目指して	9
8	安岡 明 (一問一答)	1 市長の政治姿勢 2 観光産業振興 3 西南大規模公園等の活用	10
9	西尾祐佐 (一問一答)	1 行政改革 2 観光振興	11
10	上岡礼三 (一問一答)	1 市長の政治姿勢 2 教育行政	12
11	勝瀬泰彦 (一括)	1 無電柱化 2 職員のストレスチェック 3 学校等のトイレ整備 4 遊具等の安全確保 5 防災行政無線	13
12	松浦 伸 (一括)	1 農業振興 2 子供達への福祉	14

※一般質問は6月19日(月)から21日(水)までの3日間行われました。

市長選挙の総括と公約である7つの基本政策に向けた取組について 本市と畜場の運営状況と存続について問う



垣内 孝文議員

答弁 道路整備の促進、市民の命を守る態勢、産業振興計画、少子化対策と子育て支援、健康づくりの推進、高齢者の生活利便性向上、拠点機能の充実。これらを取り組みを与えた4年間で夢とビジョンのある

質問 市長の掲げた7つの基本政策と議会との関係、4年後の未来像について

答弁 若者の投票率の落ち込みが顕著であつたことから、今後は、新有権者に対する啓発活動を続けると共に、中高生への出前授業や模擬選挙を実施し、18歳に投票所での立会人や選挙ボランティアをお願いできなか検討していく。

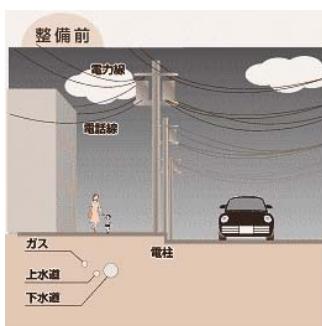
答弁 全国的にも投票率は低下傾向にある。要因分析は難しいが、批判やアドバイスは真摯に受け止めて市政に取り組む。

質問 本市発足後、過去最低の投票率を招いた要因と投票率向上の取組について

答弁 昨年12月の無電柱化の推進に関する法律が施行される以前より、国土交通省が主催する全国的道路等避難路の沿道建築物の耐震診断状況は

質問 公約に掲げた防災・減災対策の内、無電柱化の推進への取組と緊急輸送道路等避難路の沿道建築物の耐震診断状況は

答弁 昨年12月の無電柱化の推進に関する法律が施行される以前より、国土交通省が主催する全国的道路等避難路の沿道建築物の耐震診断状況は、県指定の緊急輸送ルート上に47件が診断義務化の対象となっている。診断完了の建築物が5件。進捗率は10%。



四万十市営食肉センター

質問 本市と畜場の運営状況と今後の見通しと衛生行者の安全性・良好な景観形成を総合的に考え「まちなか再生検討会」を立ち上げ慎重に議論している。

答弁 関連業者の協力もあり、事業収支は今後も黒字が続く見込みとなつている。又、関連業者から養豚場に適した土地があれば自社農場を建設したいとの要望がある。今後も畜産振興の面からもハサップ※対応の新施設への建て替えを行い、雇用の維持及び更なる拡大を図つていく。

質問 本市と畜場の運営状況と今後の見通しと衛生行者の安全性・良好な景観形成を総合的に考え「まちなか再生検討会」を立ち上げ慎重に議論している。

※HACCP(ハサップ)とは「食の安全」を確保するための国際基準。具体的には原材料の受入から最終製品までの各工程において、微生物による汚染、金属の混入などの危害を分析(HA)した上で、危害の防止に繋がる特に重要な工程(CCP)を継続的に監視・記録するシステムを指す。

市議会だより

谷田 道子議員



高齢者世帯への緊急通報装置の更なる普及とファミリーサポートセンターの開設について問う

高齢者世帯への緊急通報装置改善と拡充について問う

してしてもどちらかが寝たきり状態などの方にも設置が必要ではないか

高齢者世帯への緊急通報装置改善と拡充について問う

質問 四十万市でも高齢化が進む中で、高齢者の不安を解消し、見守りや孤独死防止の目的から65歳以上の人一人暮らしの世帯を対象に緊急通報装置を設置している。この制度の概要と実績について聞く

答弁 業者に委託して広島のオペレーションセンターで通報を受けている。専門的知識を持つ人を24時間配置し、救急の場合の手配や、月に1回の安否確認なども行っている。



設置は123世帯でだ。

国民健康保険の事業主体が、市町村から県に移行することについて

国はこの「構造的な問題」を充分解決しないまま県に移ることになるが、このことについての担当課の認識はどのように

認識はどのように

答弁 国保は、他の健康保険と違い、低所得者の増加などに加えて過疎化高齢化が進行し、国保の財政の弱化は進んでいる。

県に移行する事とは別に、国も3400億円を国保基盤の安定化のために投入する。

質問 県国保になつた場合保険料が高くなる心配があるがどうか

答弁 27年度ベースでの試算によると今までの水準と同等ぐらい。国が示す係数なども確定していないのであくまでも試算。28年度ベースで、係数が確定するなどすれば、大きく変更する場合もある。

ファミリーサポートセンター事業について

この制度は子育てを応援してほしい人と、お手伝いできる人がそれぞれ会員となり、手助けできる人たちをつなぐ制度です。県下でも高知市、香南市、佐川町などで開設されていますが、本市でも開設する必要があるのでないか

質問 この制度は子育てを応援してほしい人と、お手伝いできる人がそれぞれ会員となり、手助けできる人たちをつなぐ制度です。県下でも高知市、香南市、佐川町などで開設されていますが、本市でも開設する必要があるのでないか

答弁 働きながら子育てしている世帯については、利便性は高いと認識しているが、本市ではまだ開設の検討に至っていないのが現状。認識度も低い。まず、ニーズ調査を行い、課題の整理など先進地の事例も含めて検討したい。

質問 緊急通報装置設置申請には2名の協力者が必要だが、近所も遠くてお願いできない場合は設置できないのか。また65歳以上の人一人暮らしが条件になっている。夫婦二人で暮ら

質問 国保は社会保険にくらべると、高齢者が多く医療費水準が高い。そして低所得者が多いなど制度上の問題を抱えている。



*金納副市長の決意表明(高速道路部門)

*国土調査 *ほ場整備

*後川・岩田川の洪水対策



山崎 司 議員

質問 金納・副市長の決意表明(高速道路部門)

間が事業化となつたが、次の大方面、四十間の事業化に向けてどの様に取組むか

答弁 南海トラフ地震に立ち向かう「命の道」又、生産性を向上させ経済の好循環を確立する、真に必要な道路であり、大方四十間の地籍調査を進めると共に、国からの情報収集を密にし尾崎知事、幡多6市町村と連携し、強力な要望活動を進めて参ります。

間が事業化となつたが、次の大方面、四十間の事業化に向けてどの様に取組むか

今の体制では市民の要望に答え切れないので、今係を推進室か課に

格上げをして、積極的に取組むべきだ

また、新制度の基盤整備事業については、農地中間管理機構が借り入れている農地について、地権者・耕作者からの申請によらず、県が両者の同意や負担の割当額であり、まずは事業費の確保に向けて、国・県への働きかけを強めると共に、要望の多い中山間地区へは、優先順位をつけ順次取り組んで参ります。

また、体制強化についても機構改革を進める中で、事業規模の拡大と共に進めて参ります。

また、岩田川については、昨年3月に一部伐採をしたが、今年度も順次上流部へと進めて行く予定と聞いています。

また、新制度の基盤整備事業については、農地中間管理機構が借り入れている農地について、地権者・耕作者からの申請によらず、県が両者の同意や負担の割当額であり、まずは事業費の確保に向けて、国・県への働きかけを強めると共に、要望の多い中山間地区へは、優先順位をつけ順次取り組んで参ります。

国土調査の取組み強化

質問 中山間地区は高齢化が進み、土地の境界を知る人が少なくなっている。モデル地区を選定し、中山間地域へと事業展開すべきだ。また、多くの地区から国土調査の要望が出ているが、

ほ場整備の進捗と新制度のほ場整備について

質問 ほ場整備の国の予算が当初額より増額となっているが、3地区の事業進捗状況はどうか。また、負担金の少ないほ場整備があると聞いたがどの様な事業か

後川・岩田川の洪水対策

質問 昨年5月、洪水対策の一目、岩田・カツラ山の4区長さんが市と共に、国交省と幡多土木事務所に、佐岡橋から岩田橋までの河床整備と樹木の伐採を要望し、良い回答を得たが未だに未着手だ。

どういう予定なのか



*後川河川敷の樹木(佐岡橋上流)



*岩田川河川敷の樹木(大用寺橋上流)

答弁 3地区とも、順調に進んでおり、入田は、30年度、利岡・三里地区は、32年度完了予定です。

答弁 現在国交省は、中筋川の樹木伐採を行っており、終わり次第、後川に着手する予定。

市議会だより

上岡
正
議員



ワサビの実証栽培について

質問　ワサビ栽培による活性化について、平成27年12月の議会において、6百万円（ボーリング調査3本）を全会一致で可決した。議員からの質問で、ワサビは寒い地域で栽培されていながら、四十市で栽培可能なのかとの質問に課長から、栽培が可能であり、ボーリング調査とは別に2棟、2千万円程度で可能との答弁であった。ボーリング調査は何本掘つて、いつ完了したのか

答弁　新たに候補地を探すことも考えられ、中止した。

質問　当初約束していた3本をどのような判断で中止したのか

答弁　2本掘つて、平成28年7月に完了。

質問　ワサビでの地域活性化には大賛成である。しかし、ワサビは水温がとても重要で適温は12度前後であるが、間崎の水温の調査方法をお聞きしたい

答弁　専門家に相談して、水量にもよるが、影響は無いと考えている

質問　執行部も最初から間崎で水が出ることは分かっていたと思うが、なぜ西土佐で4百万円の調査費を掛けてまで調査したのか

答弁　ワサビの栽培については、清流のイメージがあり、黒尊川や日黒川がイメージに合うと思い、西土佐地区となつた。しかし、調査していく中で様々なハドルがあるため、最終的に間崎地区に落ち着いた。

質問　気温の高い8月上旬に一回しか温度測定をしていない。税金を使うのにはしつかりとした根拠が必要。さらに間崎地区という場所についても違和感がある。現在ハウスも少なく、水害等の影響を考えて農家さんも敬遠しているのではないか。津波のことや、水害については考へるか

答弁　洪水による浸水被害について聞き取りは行っている。津波のリスクが無いわけではないが、適地としては間崎地区が該当すると考えている。

質問　ワサビ栽培による活性化について、平成27年12月の議会において、6百万円（ボーリング調査3本）を全会一致で可決した。議員からの質問で、ワサビは寒い地域で栽培されていながら、四十市で栽培可能なのかとの質問に課長から、栽培が可能であり、ボーリング調査とは別に2棟、2千万円程度で可能との答弁であった。ボーリング調査は何本掘つて、いつ完了したのか

答弁　平成28年8月から水温調査を始め、最終的に平成29年1月19日に決定した。

質問　崎地区とする案が出ている。この内容を決定したのはいつか

答弁　昨年8月上旬に17度、本年3月下旬15・5度、6月上旬15・8度という観測をしております。

質問　税金を使うことについては、慎重に研究を重ねて、他の工法や水温の再調査も行い、予算を再構築して頂きたい



ワサビ栽培実証実験予定地

市長の政治姿勢について

*医師招聘制度の確立を *国道441号の早期整備を *わさびの実証栽培は慎重に



川村 一朗議員

医師招聘制度の確立を

質問 救急医療活動の推進が市長就任の公約でもあります。1期目早々に断念する所とし、2期目以降に持ち越すことを表明していました。医師招聘について今後どのように対応していくのか

答弁 旧西土佐村当時は、国保連合会に医師を要請すれば、1年間に2~3人の医師の紹介がされていたが、研修医制度の施行などもあり、ここ4年間、1人の紹介もない。精力的に努力しているが、医師招聘は大変厳しい状態だ。西土佐診療所へは市民病院からローテーションを組んでの対応等を考えている。現在徳島医大と連携を保つつつ高知医大との連携を強めていく。また、地方での医師確保が困難になつてゐる中で、国によつて医師を招聘できる制度を作るべきだと思う。

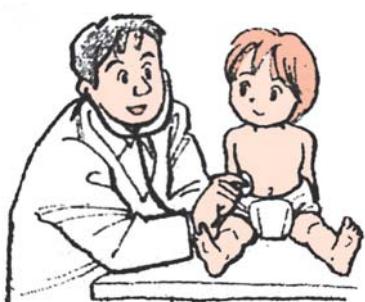
国道441号の整備の遅れの理由を明確にし、早急な対策を

質問 国道441号がトンネル構想により、合併からすでに13年も経過しているのに整備が進んでいない。合併時の公約でもあったが、整備が遅くなっている理由はどこにあると考えているか。

答弁 一つは政権交代によつて、事業が止まつたことだ。その後、県の事業として取り組んで頂いているが、一度止まつた事業を開かせるには大きな労力を要した点と、用地買収に当たつては市がもつと汗をかいていきたい。

わさびの実証栽培を実施する際の農家の負担金はどの程度か

質問 多額の資金を必要とするわさび実証栽培については心配な点が多い。また、実験が行われる間崎の水源温度は夏場17℃との正議員の質問による、夏場の水温調査は一回だけのこと。通常のわさび栽培は水温15℃以下といわれている。水源温度は上がることはあっても下がることはない。



トンネル入口予定地

ツトでも栽培が可能とする温度は15℃以下と明記している。今回のわさび栽培実験は投資が莫大であること。栽培そのものの成功率が低いこと。普及の見通しも低い点等を考慮すれば十分な調査をして今回は断念すべきだ

答弁 愛媛県庁が作成した「山菜の栽培技術指導」では、わさびは8℃から18℃の水温で栽培が可能とされている。その企業が行つたわさびの根元に直接灌水する方式での栽培実証実験でも栽培が可能と言われている。

市議会だより

大西 友亮議員



若者世代への支援対策

若者世代への支援対策

療費の無料化を実現。

今後市として、子育て支

質問 これまでも企業誘致などによる雇用の創出が市長を先頭に行われてきた。

しかし本当に若者が求めている雇用は、その企業で就職をしたら定年まで働けて、年をとることに給料が上がり保険などがしっかりとある職場を求めていると

答弁 現在若者のニーズに応える取り組みはどのようなものがあるか

答弁 現在本市では、まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定をして、雇用を創出する事を掲げている。各産業分野で具体的な取り組みを進めている。

若い世代の結婚、妊娠、出産、子育ての希望を叶える事も大きな柱の一つ。こうした経済的な支援策は、財源の確保など課題が多い。昨年度中学校までの医

援等政策の立案等を主体的に行える部署を作り、保育サービスや学童保育の充実等の側面的な支援を強めていく。

答弁 本市の南海トラフ対

策としては、発災直後に死

は今後どのようにやってい

くのか。

香川県三木町では201

6年度のふるさと納税額が目標の5億円を突破し、15年度の60倍以上の寄付額に達した。この結果を見る

と本市でももっと力を入れればもっと寄付額を増やせるのではないか。本市での今後の取り組みについてどのようにしていくのか



防災について

質問 震災により生き残った後にも住民には、多くの問題やストレスにさらされる事になるが、市はどのようにケアしていくのか

答弁 憶として、男女別の更衣スペースや洗濯物の干場の確保や妊婦等の日常生活上特段の配慮が必要な方には、周りに認識してもらうヘルプカードを配布すると共に教室等を利用して避難スペースの区分を行うなどの対応をしていく。

質問 ふるさと納税について

質問 ふるさと納税の寄付額を上げるための取り組み

答弁 寄付額を上げる取り組みとして、ふるさと納税のポータルサイトでの本市の露出度を上げる取り組みを強化している。統計によると現在全国自治体の寄付申し込みの約84%がこのサイトを通して申し込みをされている。今年度からは、さらに露出度を上げる為にこのポータルサイト内でのPRを強めしていく。本年度の目標額として二億円を目指してい

る。

市長施政方針についてと 住みやすい地域を目指して



酒井 石 議員

道路網の整備について

質問 高速道路、国道441号、国道439号、県道55号住次郎佐賀線、市道、生活道について、今分かっている見通し、将来の予想

答弁 高速道路については、この4年間で大方まで事業化になつた。あとは大方四十間の事業化と予算獲得を強化し、また尾崎知事とも連携し、頑張ってまいります。国道441号は合併支援道路であり早急に整備するよう努めてまいります。国道439号については、県がするようになると思いますが国道41号が終わつてからになると思います。今でも国道439号改良期成同盟会というものがあり、その都度要望をしています。県道55号住次郎佐賀線については、県の方へ改良を申し入れる。市道、生活道については、それぞれ現状の大変なものから改良している。

雇用拡大について

質問 産業振興計画により、今後どのように見込まれるか

答弁 子育て世代包括支援センターを設置し、支援体制の構築を図つている。

子育て支援について

質問 具体的な対策とそれに伴う効果

答弁 道路整備の考えで1次産業から6次産業まで通ずるものと考える。四十川を中心にして観光客を取り入れる。

答弁 具体の雇用者数は計画に設けてないが、計画に位置付けた個々の具体的な施策を実施し、それらが上手く噛み合うことで雇用拡大に繋がると考えていい。

高齢者の見守りについて

質問 高齢者の見守りについて、具体的な対策は

答弁 現在、地区健康福祉委員会が104地区で設立されており、そのうち83地区が支え合い地域づくり事業に取り組み、見守りを行つてている。

若者定住促進と移住促進について

質問 今ある対策と今後の見込みは

答弁 現在、IT企業が出張所を開設。東京本社で経験を積み、順次、出張所へ送られる計画。

婚活支援について

質問 婚活支援について具体的な対策は



答弁 昔は仲人さんがいてお見合いの場を設定していたが、今はほとんどなくなり、現在は出会い系の場を提供する、「出会い系のきっかけ応援事業」を平成23年度から実施している。また平成28年度からは「婚活サポート制度」というものを始めている。

市議会だより

安岡 明 議員



安心して住み続けることのできる町の構築を

市長公約への取り組み

質問 高齢者の生活利便性対策として、生活支援等地域ぐるみのサポート体制等を掲げているが

答弁 高齢者等が住み慣れた地域で安心して生活を送る為に掃除や調理等日々的な取り組みを実施している。今後も支援体制整備の充実強化を図り山間地域の生活状況把握を行い、移動販売の見守りの継続も考えていく。

観光産業の振興

質問 志国高知幕末維新博

答弁 6月19日現在の入館者数は1275名。5月から観光協会と連携しレンタサイクル利用者に企画

展無料優待券を配布。小学校には校長会での参加要請や講演会を実施。更に出前授業を行う等企画展のPRをしている。しま

とトロリーバス利用は休みを迎えるので観光関連団体や宿泊施設等と連携を密に周知・連携を強化し利用促進を図る。

質問 観光客は四万十川の景観と共にノリや鮎、ウナギ等の食材も楽しむ。これら食材の保護育成の状況は

答弁 天然物スジアオノリの下流漁協への入荷量は0.2t。収穫量は自然に左右されるため河床整備等に取り組む。自然栽培も力モの食害やシオミドロによる生育阻害が起つたが課題を検証し収穫量確保に向け取り組む。アオサノリの収穫量は7.1t。淡水化の影響を受けにくく網の設置方法等を検討する。鮎は昨年度四万十

ラメは下流漁協でここ数年6cmの稚魚4300匹放流。それぞれ放流効果が得られている。

オートキャンプ場とまろっと



西南大規模公園等の活用

質問 黒潮町大方の大規模公園エリアはスポーツ

答弁 四十万地区では「とまろつと」「いやしの里」の宿泊施設わんぱく広場等は自然の中での健康づくりリ亞の経済効果拡大等の推進を図るべきでは



サンサンパーク廣場

質問 大規模公園内の災害対策上の利用計画を問う

答弁 本市では「南海トラフ地震応急期機能配置計画」を作成。甚大な被害が想定される下田地区に隣接する大規模公園は「応急仮設住宅を建設する用地」として、利用を検討している。

自然環境の保全の役割も

果たしている。サッカーフィールドのスポーツ施設は予算確保が困難で整備に至っていない。今後は地元意見も踏まえ、事業計画の変更も含めた経済効果を見込める宿泊施設の拡充等強く要望していく。

西尾 祐佐議員

窓口業務の一部民間委託を スポーツツーリズムの推進について



窓口業務の一部民間委託を

質問 図書館の指定管理者制度、昨年度の実績を問う

答弁 経費削減では300万円の見込みが、約570万円の削減になつた。市民利用者からは大変喜ばれ

ていていると実感している。

答弁 雇用期間は6ヶ月を超えない期間、更新等により最長で原則3年。

質問 窓口業務の一部民間委託について検討したことはあるか

答弁 協議をしたことはあるが、実施に向けての検討はない。

答弁 賛同できるものだと考える。まずは既存の施設や取組みの中での活用を考えていきたい。

質問 田んぼアートの取組みについては検討をしたことはあるか

答弁 検討をしたことはない

質問 県や近隣市町村も力を入れて取組んでいる。もつとスピード感を持つて取組むべきだ

質問 同時に県や近隣市町村としっかりと連携し、広域での取組みも強化すべきだ

答弁 協議会ではスポーツキヤンプ誘致に向けて取組むための予算が計上されており、積極的にこちらへも参加していくようにする。

質問 市民病院給食業務の民間委託についての実績を問う

答弁 年間約1800万円の経費削減。食事の味、社員の対応共に好評。また診療報酬の增收や患者満足度の向上にもつながり委託によるメリットは大きかった。

質問 正職、臨時職員の人数は

答弁 正職員が589人、臨時職員は133人。

観光と他産業との連携について

質問 炭の販売出口、一次産業の振興にもつながると思うが、公設市場等にバーキュー施設を整備してはどうか

答弁 クリアーしなければならない課題がいくつかあるが今後は実施事例等を参考に四万十市で導入できる場合を検証しながら検討していく。

スポーツツーリズムの推進について

質問 同様の質問をした昨年3月議会以降の動きについて問う

答弁 スポーツ合宿誘致については行えていないが、幡多広域での一本化窓口について検討している。



黒潮町の人工芝グラウンド



市長の政治姿勢と 教育行政について

質問 具同地区の人口は、町内の6割強であり大型店舗の進出（量販店・自動車関連企業等）が多く、また福祉施設関連企業などその上住宅が乱立し道路

具同地区の道路整備について

答弁 特に若者の棄権率が最もたる原因で、これまでの選挙啓発事業をより分析するとともに選挙と政治への感心を高めてもらうため、高校を訪問し出前授業の実施など、きめ細かな対策に努める。特に18歳19歳の皆さんを中心にして啓発活動を強化したい。

市長の政治姿勢
市長選・補選の投票率
率の低下について

質問 4月の市長選・補選の投票率（54・3%）について、何が原因か。併せて今後の対応と対策を聞く

「ANA総合研究所」の接遇指導をいただいており、31年度までの受け入れ目標130万人で外国人の方を5千人と目標を立てている。

質問 これからのお四万十市
の経済活性化は観光客を
「特に外国の皆さん」を受け入れるかにかかってい
るが、タクシーの受け入れ
接遇と目標は何名か

答弁 渡川沖、古川地区は、ハウスなど農作物の耕作地の1等地であり、今後地区の意見も聞きながら、更に古川土地改良組合とともに話し合いを行つてゆく。

答弁 沈下橋周辺の道路は市道佐田今成線であり、道川登中村線340号線の周辺は低地のため、浸水

質問 佐田沈下橋を含め、
光地の道路整備を要求す
る中で、佐田の県道・川發
中村340号線から沈下
橋までの、約200mばかり
りの農道が狭隘であり、
光地としての道路としては
は問題があり、早急な整備
を求める

A long wooden pier or bridge extends from the foreground across a body of water towards a dense, scrub-covered hillside. The bridge has multiple support pillars and leads to a small platform or dock area. The water is calm, reflecting the surrounding environment. In the background, a large, dark, scrub-covered hill rises against a clear sky.

佐田の沈下橋

答弁 委員会としても再検討委員会の答申案を受け、今後再編計画(案)を作成のうえ各地区で説明会を開き、皆様に理解を得ること、また生徒も、統合する学校とも十分な交流学習を行うことが必要であり加えて、校舎の改修期間も考慮すれば33年4月より早めることは困難ではないかと考える。

質問 広報（6月）によると、第5回小中学校再編検討委員会の「確認事項」では、中学校では最短でも、平成33年4月開校と示されているがあまりにも時間がかかりすぎはしないか聞く

時の対応にはエンクリート舗装を考える必要があり、尚、地区の意見もまだ十分に集約されていないため、区長さんとも早急に話を進めたい。

無電柱化の推進・職員のストレスチェック 学校等のトイレ整備・遊具等の安全確保 防災行政無線



勝瀬 泰彦議員

質問 昨年度実施しているが、対象者、検査結果、不調者への支援策を問う

職員のストレスチェック



京町の電柱群

質問 市民の命を守る為として観光振興の面からも無電柱化を進めるべきと思うが認識と必要性を問う

無電柱化の推進

答弁 市の将来を考えた時、防災、交通、景観の観点から必要であると認識している。まちなか再生についても候補路線を慎重に選び積極的に進めて行きたい。

質問 洋式トイレで育った世代の子供達が和式は使いづらく排便の我慢が慣れ化していると聞くが本市の子供達のトイレ事情と洋式化への整備状況を聞く

答弁 昨年11月発表で本市小中学校で706基中175基が洋式で率として24・8%国、県全体を下回っている状況。小中学校で最低一ヶ所は洋式に整備しているトイレ事情についてアンケートを取つてないので実態は把握できていない。

学校等のトイレ設備

答弁 対象外を除く全職員が受検、受検率91%。結果は総合判定値全国平均100としているが本市は89で平均よりリスクは少なかつた。支援策は、専門家によるカウンセリングを促し職場環境の改善にも努めている。

質問 遊具の傷みがひどく子供達の安全が確保されているとは思わない。点検とその後の処置を問う

答弁 本年度より専門業者に委託し全小学校遊具の点検を行い安全確保に努める。今後の評価結果に応じて専門業者のアドバイスも頂きながら修繕等、必要な処置を講じていく。

遊具等の安全確保



防災行政無線

質問 難聴地区も多く残つていると聞くが解消対策は

答弁 難聴対策は重要な課題と捉えている。今後は地区有線への接続も考えている。現在、音達工リアを考慮し効果的な配置計画、又その他に良い方法がないか地域特性も考え可能な限り難聴対策に努めて行く。

防災行政無線

質問 現在進行中とは思うが聞きづらい所もある。これまでの整備状況について問う

答弁 多目的トイレの整備は学級開設時には洋式化に努めている。

質問 大規模修繕、特別支援学級開設時には洋式化に

多目的トイレの整備はスペース上の問題と増築40年を越えた老朽化対策の時に体育館も合わせ再編に伴う大規模改修や改修出来ないか検討していく。

スケース上の問題と増築40年を越えた老朽化対策の時に体育館も合わせ再編に伴う大規模改修や改修出来ないか検討していく。

答弁 平成24年度より整備に取り組んでいる。まず津波等のリスクの高い下田、八束地区を重点的に整備し、その後浸水被害の想定されたいない地区は既存の消防サイレン吹鳴の設置箇所など踏まえ整備を行ってきた。



農業振興について 子供達への福祉について

農業生産力の拡大について

また、市産業振興推進総合補助金により事業支援を行っている。

質問 中山間地域では、高齢化により離農する方が多い。重労働作業を軽減できれば継続できる可能性がある。農業生産力の拡大、労働力の確保について市の取組みは

答弁 大きな課題であり、そのためにはまず、農地保全、就農者の確保が大切であると考え、新規就農者への支援や農地の維持・管理のため「中山間直接支払制度」、「多面的機能支払制度」、「集落営農の支援」など国や県の制度を活用し事業を開拓している。

質問 JAが無料職業紹介所事業を実施しているが、市は支援しているのか

答弁 JAの労働力確保対策事業だが、認知度の低さや農家の求める人材の確保など課題もある。周知方法や技術研修など今後協議する。

雨よけ簡易ハウスについて

質問 少ない面積での収量増加、所得向上など山間地の農業振興の一つの方法

答弁 市としても山間地農業の維持発展に有効な手段であると認識している。新規就農者が導入する際には県複合経営拠点支援事業を活用している。露地園芸用ハウス整備事業の活用となるが、耕作農地の要件など事業対象になりにくく新たな事業の創設を含め県に要望していく。

保育料について

質問 少子化対策、子育て世代への支援として、市独自の保育料軽減施策はないか

答弁 完全給食実施には調理業務の増加等に対する対応の他、財政的な課題（給食費、人件費、設備費）もあるが、これらの課題を整理したうえで保護者から意見を聞き、実施に向けて検討していく。

保育所の完全給食について

質問 公立保育所の完全給食実施はできないか

答弁 現在、県内で完全給食を提供している自治体は香南市と南国市の二自治体。香南市は公費負担、南国市は給食費として保護者負担となつていて。完全給食実施には調理業務の増加等に対する対応の他、財政的な課題（給食費、人件費、設備費）もあるが、これらの課題を整理したうえで保護者から意見を聞き、実施に向けて検討していく。



6月定例会では4件の意見書が提出され、3件が可決されました。

①「テロ等準備罪」の新設を含む改正組織犯罪処罰法の廃止と、法案審議においては民主主義の理念のもと、十分な説明と審議を尽くすことを強く求める意見書 (川村一朗他3名…賛成少数否決)

意見書の賛否の状況		賛成○ 反対×																	
矢野川信一	藤田豊作	宮本博行	宮本幸輝	白木一嘉	上岡礼三	勝瀬泰彦	宮崎努	川村一朗	安岡明	平野正	今城照喜	上岡正	山崎司	谷田道子	垣内孝文	西尾祐佐	大西友亮	酒井石	松浦伸
意見書①	議長	×	欠席	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	○	×	○	×	×

②地方の道路整備の推進に関する意見書(要約) (山崎司他8名…全会一致可決)

市道は、日常の通勤・通学や買い物などに利用される最も身近な道路であり、安全に供用できるよう計画的な整備等を行う必要がある。本市では道路整備に係る国の交付金・補助金を活用し、市道整備や道路施設長寿命化等を進めてきた。

「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」第2条に規定する特例が、期限切れとなる平成30年度以降においても、道路の着実な整備と安全・安心な供用を維持していくためには、国の道路予算全体の拡充と道路整備事業に係る国費率等の嵩上げ措置の継続が不可欠である。

よって、地方における道路整備が着実に推進できるよう、以下の項目について強く要望する。

- 一、地域経済を活性化させ防災力を向上させるためには、道路を計画的に整備し、適切に維持管理していくことが必要不可欠であることから、道路関係予算を拡大したうえで、必要な額を確保すること。
- 一、「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」第2条に規定する国の負担割合又は補助の割合の特例を平成30年度以降も継続すること。

③日本政府が核兵器禁止条約の交渉に参加し、条約実現に努力するよう求める意見書(要約)

(谷田道子他4名…全会一致可決)

核兵器禁止条約の交渉会議を2017年を開くことを決めた決議が、昨年の国連総会で、加盟193か国のうち113か国の賛成で採択されました。

その後、3月のニューヨークでの国連会議では、「7月7日に条約を採択したい」と議長の強い決意が表明されました。

広島、長崎に原爆が投下されてから70年以上たって、世界から核兵器をなくす初めての歴史的なチャンスです。しかし、残念ながら、日本政府は3月の国連会議に参加しませんでした。

日本は核兵器廃絶に向けた大きな流れの中で、世界で唯一の戦争被爆国としての役割を果たさなければなりません。

日本政府が6、7月にニューヨークの国連本部で開催される交渉会議へ参加し、核兵器禁止条約実現に向けた努力をすることを求めます。

④中心市街地活性化に資する土地購入についての意見書(要約)

(宮崎努他11名…全会一致可決)

四国銀行中村支店が統合移転した跡地は市の中心市街地に位置する優良な土地であり、今後のまちづくりや、中心市街地の活性化において大きく寄与するものと考える。

加えて、所有者の(株)四国銀行としては、売却が急務でありながらも、長年お世話になった商店街が活性化を図れるような土地利用を望んでいると聞く。また、各商店街の期待と不安も大きいのが現状である。このことからも、跡地の利用については行政が主体的に関与し、今後のまちづくりの方針に沿った土地利用を図る必要があり、以下の項目について要望する。

- 一、土地の活用方法について、検討委員会等を立ち上げて早急に検討を行うこと。
- 一、当該地が市の将来のために必要であると判断された場合は、市が取得すること。

全国市議会議長会開催

5月24日、第93回全国市議会議長会が東京国際フォーラムで開催され、矢野川議長が出席しました。

安倍内閣総理大臣等の来賓祝辞の後に会長選任、部会提出議案27件及び会長提出議案4件（地方創生の推進に関する決議、地方税財源の充実確保に関する決議、防災・減災対策の充実強化に関する決議、東日本大震災からの復旧・復興に関する決議）の審議等行いました。

矢野川議長は部会提出議案の「参議院選挙における合区解消について」の補足説明を行いました。

総会終了後の合同委員会では、矢野川議長が地方行政委員会の副委員長に選任されました。



◎議員の出席状況をお知らせします！！

出席○ 欠席×

【総務常任委員会】

	宮本 博行	上岡 正	宮崎 努	平野 正	今城 照喜	谷田 道子
委員会(H28.6.7)	○	○	○	○	○	○
委員会視察(H28.7.19)	○	○	○	○	○	○
県外委員会視察(H28.8.8~10)	○	○	○	○	○	○
委員会(H28.8.22)	○	○	○	○	○	○
委員会(H28.11.15)	○	○	○	○	○	○
委員会(H29.2.23)	○	○	○	○	○	○

【産業建設常任委員会】

	山崎 司	垣内 孝文	宮本 幸輝	白木 一嘉	勝瀬 泰彦	川村 一朗
委員会(H28.5.25)	○	○	○	○	○	○
委員会視察(H28.7.15)	○	○	○	○	○	○
委員会(H28.8.23)	○	○	○	○	○	○
県外委員会視察(H28.10.17~19)	○	○	○	○	○	○
委員会(H28.11.18)	○	○	○	○	○	○
委員会(H29.2.15)	○	○	○	○	○	○

【教育民生常任委員会】

	安岡 明	大西 友亮	藤田 豊作	上岡 礼三	矢野川 信一	西尾 祐佐
委員会(H28.5.26)	○	○	○	○	○	○
委員会視察(H28.7.13)	○	○	○	○	×	○
委員会(H28.8.16)	○	○	×	○	○	○
委員会(H28.11.28)	○	○	○	○	○	○
県外委員会視察(H29.1.16~18)	○	○	○	○	○	○
委員会(H29.2.14)	○	○	○	○	○	○

*矢野川信一委員はH28.7.13の委員会視察については議長公務のため欠席となっています。

【議会運営委員会】

	勝瀬 泰彦	西尾 祐佐	藤田 豊作	宮本 幸輝	平野 正	上岡 正	山崎 司	大西 友亮
委員会(H28.6.9)	○	○	○	○	○	/	○	○
委員会(H28.9.1)	○	○	○	○	○	○	○	○
委員会(H28.12.1)	○	○	×	○	○	×	○	○
委員会(H29.2.15)	○	○	○	○	○	○	○	○
委員会(H29.3.1)	○	○	○	○	○	○	○	○

*上岡正委員はH28.6.30に選任されました。

【広報広聴委員会】

	宮崎 努	今城 照喜	宮本 博行	上岡 礼三	川村 一朗	安岡 明	垣内 孝文	西尾 祐佐
委員会(H28.4.12)	○	○	○	○	○	○	○	○
委員会(H28.4.28)	○	○	○	○	○	○	○	○
委員会(H28.7.12)	○	○	○	○	○	○	○	○
委員会(H28.8.25)	○	○	○	○	○	○	○	○
委員会(H28.10.14)	○	○	○	○	○	○	○	○
委員会(H29.1.12)	○	○	○	○	○	○	○	○



表 彰 おめでとうございます

【全国市議会議長会】

議員在職20年以上 特別表彰

宮本 幸輝議員

宮本 博行議員

評議員としての感謝状

矢野川 信一議員



【四国市議会議長会】

議員在職32年以上 特別表彰

藤田 豊作議員

議員在職20年以上

宮本 幸輝議員

宮本 博行議員

議員在職16年以上

白木 一嘉議員

上岡 礼三議員

〃〃〃〃〃	委 副 委 員 員 長 長	西垣 安川 上宮 今宮	尾内 岡村 岡本 城崎	祐孝 一礼 博照	佐文明朗 三行 喜努
-------	---------------	-------------	-------------	----------	------------

広報広聴委員会

暑いですね。
これから夏本番で、夜市やら夕涼み会、地区のお祭りそして市民祭、花火とイベントが盛りだくさんの季節です。
そんなイベントの準備や片付けをしている皆さんに目を向けてほしいと思います。地区の方々、商店街の方々、役所の方々、保護者や先生方など、たくさんの人達がかかわっていますが、皆さん大変だと思いながらも、子ども達や地域の皆さん、イベントを楽しみにして下さる皆さんの方に、無償で頑張つてらっしゃいます。
それでも、「ありがとうございます」の一言ですべてが報われる気がします。祭やイベントを引き継いで行く為に、大切なことだと思いますし、四十万市の子ども達にも伝えていきたい気持ちです。
ともあれ、暑さに負けず、皆さん頑張りましょう。

編集後記

発行 四万十市議会（編集：広報広聴委員会）

〒787-8501 高知県四万十市中村大橋通4丁目10番地 TEL 0880-34-5071 FAX 0880-34-1827
お問い合わせ、ご意見等については「四万十市議会」まで

次回定例会は9月4日からの予定です。傍聴にお越し下さい。

（西土佐総合支所では1階市民室で視聴いただけます）

※議会議録は市ホームページ (<http://www.city.shimanto.lg.jp>) で閲覧できます。

※平成29年6月定例会議録の閲覧開始及びホームページへの掲載は9月中旬の予定です。

[Ustreamによる議会ライブ中継は…]

URL:<https://www.youtube.com/channel/UCuzoCoFLaedC06OQWPBRr5Q>

[You Tubeによる録画映像配信は…]

URL:<https://www.youtube.com/channel/UCuzoCoFLaedC06OQWPBRr5Q>

[市議会のフェイスブックは…]

URL:<https://www.facebook.com/Shimantoshigikai>

[市議会のホームページは…]

URL:<http://www.city.shimanto.lg.jp/gyosei/sigikai/sigikai.html>

[市議会のLINEは…]

表紙のQRコードを読み込むか、LINEの友達検索画面からID検索で追加！⇒市議会ID『@kco2522u』



ライブ中継は…



録画中継は…



フェイスブックは…



ホームページは…



LINEは…



スマートのバーコード
アプリから…



読み取るだけ！！